

7. 地方からの便り

由宇保育園幼年消防クラブ発足

山口県 岩国地区消防組合消防本部



岩国地区消防組合では、幼年期からの防火意識の高揚を目的として組合構成市町村へ各一団体設立を推進中で、本年9月2日に管内9番目の由宇保育園幼年消防クラブの発会式が行われました。

同保育園は情操教育の一環として14年前から太鼓演奏を取り入れ、今では保育園の運動会、町内外の老人福祉施設訪問、町の祭りや敬老会等において演奏を披露し、その演技力は多くの方々から高い評価を得ており、今後ますますの活躍が期待されます。



同保育園は

発会式でもアトラクションで岩国消防から贈呈された法被を身につけての太鼓演奏は評判どおりの熱演で会場を圧倒、集まった保護者はいつも以上の出来栄えに大変満足な様子でした。



[▲ このページの上に戻る](#)

親子で防火のつどい

福井県 鯖江・丹生消防組合消防本部

「戸締り用心 火の用心」と園児たちの元気な掛け声と共に、鳴子、手作りのまといをかざし、幼年防火

クラブ員、保育士が防火に対する思いを一つにしました。

去る9月10日(金)鯖江市総合体育館において、当協会の共催、地元の鯖江王山ライオンズクラブの協賛で「親子で防火のつどい」が盛大に開催されました。



鯖江市

内の幼稚園・保育園児約1,460人が集まり、「火の用心の歌」をYOSAKOI風アレンジした曲にあわせ遊戯を楽しみました。

そして、消防音楽隊によるドリル演奏・消防職員による防火寸劇などが行われ、園児たちは楽しい時間を過ごし、最後に園児全員で「ぼくたち、わたしたち、火あそびをしません」と大きな声で防火を誓いました。



[▲ このページの上に戻る](#)

幼年少年婦人防火クラブ指導者研修会

島根県 出雲市外4町広域消防組合消防本部

8月3日出雲科学館において「幼年少年婦人防火クラブ指導者研修会」を開催、クラブ指導者とクラブ員約200名が参加し、代表クラブによる活動発表や毎日使う火に関する講演が聞かれました。



講演会は迫力満点の内容で、液化窒素や水素を使った実験、また身近なところではローソクの炎を使った消火方法など、光と音の両面から火の大切さやその扱い方をしっかり学ぶことができました。



ま

た、最後にはハマナス保育園幼年消防クラブ員による和太鼓の演奏が行われ、クラブ員たちが元気いっぱい太鼓を打つ姿に参加者全員、笑顔がこぼれていました。



今回は、幼年、少年、婦人防火クラブ員が一堂に会し交流を深め、大変有意義な研修会とすることができました。この研修会を機に、さらに積極的に防火に関する活動に取り組みたいとみなさん決意を新たにしていました。

[▲ このページの上に戻る](#)

中学生が消防本部で職業体験！

泉佐野市消防本部では、市内の中学校からの依頼を受け、9月17日(金)に職業体験を実施しました。

この日、職業体験に訪れたのは、市立佐野中学校の生徒7人で「一日消防士」として消防署の仕事や訓練を体験しました。

体験は、8時45分に交代勤務者の引き継ぎ交代とともに始まり、午前中は、各消防車両の説明、現場服装を着装してのホース延長や放水訓練、そして心肺蘇生法を交えた救急体験等を実施しました。



午後は、「同じ釜の飯」から生まれる

チームワークの大切さを学んでもらうため、職員と一緒に食事に行ったのち、消防本部初の女性消防士である榎谷消防士との座談会の時間を設け、新米消防士の体験などを説明すると生徒たちから色々な質問がでるほどの好評のうちに体験学習を終了しました。

木ノ元消防長は、「この体験を通じ、命を守ることの大切さを理解し、何事にも挑戦する姿勢で未来に羽ばたいて欲しい。そして、いつしか、我が消防本部の消防士になってくれる事を心から願っている。」と語っていました。

[▲ このページの上に戻る](#)

訪問介護ヘルパーに救急講習を実施！！

大阪府 泉佐野市消防本部



救急医療週間中(9月5日から9月11日まで)の行事の一環として、9月14日(火)、泉佐野市消防本部では、管内の訪問介護事業所のヘルパーを対象に高齢者に対応する救急講習を実施しました。

泉佐野市内及び田尻町内にある訪問介護を行っている28事業所のうち19施設53人のヘルパーが参加しました。高齢化社会の到来と共に高齢者の救急搬送が増加傾向にあり、昨年の泉佐野市(田尻町含む)における救急搬送数5,696人のうち、65歳以上の高齢者が1,930人と全体の約34%を占めています。その中にはヘルパーが訪問先から救急車を要請するケースもあり、救急隊が到着するまでの間

に応急手当をしなければならない場合もありました。特に食事中に食べ物をのどに詰めた場合の異物除去や意識がなく、息をしていない場合の心肺蘇生法等の実技を交えた講習に真剣に取り組み、その後行われた応急処置に関する質疑応答にも携帯電話での119番通報の仕方等救急要請する場面を想定した質問が行われていた。

▲ [このページの上に戻る](#)

三国町少年消防クラブ「夏期錬成大会」開催

福井県 三国町消防本部

三国町少年消防クラブの夏期錬成大会が8月26日(木)、三国町浜地の芝政ワールドで開催されました。町内の5小学校から5年生約200名が参加し、クラブ員たちは初期消火や救急法を学びました。この大会は、防火や万が一の際に役立つ知識や技術を身に付けてもらおうと毎年開催されています。

大会では、三国町少年消防クラブの細江悦雄会長のあいさつの後、クラブ員が4班に分かれて救助、初期消火、応急手当、地震体験の防火教室に臨みました。



救助では消防署員から避難や救助のためのロープの結び方を習い、初期消火では消火器の使い方をマスターしました。初期消火訓練では、放水銃「フォッグテック」などを操作、クラブ員たちは署員から「腰をしっかり据えて」などとアドバイスを受け、水圧に押されながらも目標に向かって放水していました。

また、応急手当のなど救急に関する知識について説明を受け、地震の体験では県消防学校の「起震車」に乗り込んで震度7の揺れを体験しました。

最後に水の大切さと人命の尊さを知ってもらおうと、水泳訓練が実施され、水難事故防止を学んだり、クラブ員同士の親睦が図られました。

▲ このページの上に戻る



鹿島町自主防災研修会の開催

福島県 相馬地方広域消防本部



今年4月にオープンした生涯学習センターさくらホールにおいて、鹿島町の防災活動のさらなる充実のため、自主防災会のリーダー及びその関係者を対象に岩手県大船渡市から西山謙一氏を講師に招き、講習会が開催されました。9月1日の防災の日を前に、今後増加していく秋口の火災を防止しようと毎年開催しています。

西山氏は「115世帯が総参加 防災訓練が心のきずな」と題した講演において、地域の自主防災組織で、弱者マップの作成やヘルメットなどの防災資器財を配備したこと、全世帯参加の防災訓練を行った事などを紹介し、自分たちの地域は自分たちで守ることが大切と強調していました。



出席者は災害に備える意識を新たにし、自主防災の理解を深めました。

▲ このページの上に戻る

声、高らかに防火宣言！

宮城県 黒川地域行政事務組合消防本部

黒川郡婦人防火クラブ研修会が9月18日、大和町まほろばホールで開催され、郡内4町村の会員約700人が、白い割ぼう着姿で参加しました。



今年で26回目を迎える研修会、第1部は優良婦人防火クラブ、無火災地区(30年間・10年間)の表彰、参加者全員による婦人防火クラブ音頭の合唱、自分の家から隣から火事を出さないよう「火災のないまちづくり」の輪を広げますと防火宣言を唱和しました。

第2部は、仙台市若林区北部連合町内防災部長で「奥さま防災博士」の高橋みさをさんが、「となり近所 少人数の助け合い」と題して講演を行いました。支援活動をとおして体験したこと、感じたこと、地元での活動状況を、ユーモアたっぷりに披露してくれました。参加したクラブ員は、ぜひ自分たちの地区の研修会でも講演して欲しいと語っていました。



最後は恒例の、婦人防火クラブ音頭や消防音頭の防火踊りで研修会を盛り上げました。



[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 平成16年秋季全国火災予防運動実施について](#)
- [2. 婦人防火クラブ活動への理解](#)
- [3. 敬老の日にちなんだ住宅用火災警報器の配付・取付モデル事業の実施について](#)
- [4. 平成16年\(1月～6月\)における火災概要\(概数\)](#)
- [5. 消防殉職者慰霊祭の実施](#)
- [6. 第1回甲種防火管理再講習等のあり方に係る委員会の開催](#)
7. 地方からの便り
- [8. あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)
- [9. 日本防火協会からのお知らせ](#)